

埼玉県川越市教育委員会

(概要)

- ・ 設置校数：小学校 32 校、中学校 22 校
- ・ 環境を考慮した学校施設（エコスクール）として既に取り組んでいる学校数：全ての小中学校（エコスクール事業の認定を受けているのは小学校 2 校）
- ・ エコスクールへの取組時期：平成 10 年～
- ・ エコスクール化の主な内容
全ての小中学校への太陽光発電設備の設置

(エコスクール化の内容)

○エコスクール化への経緯

平成 10 年に川越市環境基本計画を策定し、新エネルギーを公共施設へ導入することを重点施策に掲げるとともに、平成 11 年には ISO14001 の認証を取得する過程において、太陽光発電設備を全ての小中学校に設置するとの方針を決定した。



(太陽光発電パネルを見学する様子)

○太陽光発電設備設置の方針

・ 設置規模

全ての学校に設置する必要があること、また地域住民への環境意識の啓発効果を考え、一般家庭での設置規模にあたる 3kW の設備を校舎屋上に設置した（改築を行った学校は 10kW および 30kW を設置）。

また、環境教育への活用を踏まえ、発電量表示盤も全ての学校に設置している。

・ 設置計画

平成 10 年度・11 年度には市の単独事業にて 1 校ずつ設置したが、平成 12 年度から平成 15 年度にかけては、「地域新エネルギー導入促進計画」を策定し、小中学校以外の公共施設も含めた一体的な事業とすることで、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業として採択され、設置経費の 1/2 の助成を受けることができた。

その後、平成 18 年度に改築を行った 1 校に設置し、全ての小中学校への太陽光発電設備の設置を完了した。

・ 計画における留意点

校舎屋上への設置であるため、屋上防水改修工事などと同時に施工できるように計画し、効率的な整備を図った。

また、地域への普及促進を考慮し、年度ごとに地域を分散して設置した。

(エコスクール化の効果)

○設備を用いた環境教育

太陽光発電設備を設置したことにより、各学校では授業やその他の機会に太陽光発電設備を実際に見たり触れたりしながら発電の仕組みを学習することができ、より効果的な環境教育を行うことができるようになった。



(発電量を調査する様子)

○エコチャレンジスクールへの展開

川越市では、環境にやさしい学校づくりに取り組む学校に対し、エコチャレンジスクールとして認定する事業を行っている。

各学校においてはエコチャレンジスクールへの取り組みの中で、太陽光発電設備を用いて発電量を調査して、発電による二酸化炭素削減量をグラフで掲示したり、校内放送で発表したりするなど、児童生徒が率先して省エネ意識を持って活動している。



(エコチャレンジスクールに関する掲示)

(地域等の環境・エネルギー教育、意識向上)

○学校から地域への波及効果

学校に訪れる保護者や地域の人々が、学校が行っている環境への取り組みを目にすることにより、各家庭においても環境への意識を高める啓発にもつながっている。その結果、太陽光発電設備についてPTAの広報誌で紹介されたり、卒業記念としてハイブリッド照明が寄附されたりするなどの広がりをみることができた。

○各家庭での太陽光発電設備の設置推進

川越市では、平成9年度から住宅用太陽光発電設備を設置する市民に対する補助事業を行っている。

学校を中心とした取り組みにより、市民の太陽光発電設備に対する認知も深まり、ここ数年においては補助申請件数が大きく増加している状況となっている。



(屋根の上に取り付けられた太陽光パネル)